



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

2019年3月期 決算補足資料

大陽日酸株式会社
2019年5月13日

目次

1. 2019年3月期 通期業績

- 1) 業績概要
- 2) セグメント別業績

2. 2020年3月期 通期業績予想

- 1) 業績予想概要
- 2) セグメント別業績予想

3. 参考資料

- 1) 非経常収益・費用明細
- 2) 要約キャッシュ・フロー計算書（連結）
- 3) 要約財政状態計算書（連結）
- 4) 重要経営指標（連結）
- 5) 業種別売上割合
- 6) 大陽日酸のガス供給体制



1 - 1. 業績概要

単位：億円	18/3月期 通期実績 利益率	19/3月期 通期実績 利益率	前期比 増減率	19/3月期 通期予想 (2/5発表) 利益率
売上収益	6,462	7,403	+941 +14.6%	7,350
コア営業利益	600 9.3%	658 8.9%	+58 +9.6%	665 9.0%
非経常損益	-1	10	+11	5
営業利益	598 9.3%	668 9.0%	+70 +11.7%	670 9.1%
金融損益	-39	-47	-8	-55
税引前利益	558	620	+62	615
法人所得税	-51	-183	+132	-185
当期利益	507	437	-70	430
(当期利益の帰属)				
親会社の所有者に帰属する当期利益	489 7.6%	412 5.6%	-77 -15.6%	410 5.6%
非支配持分に帰属する当期利益	18	24	+6	20

- 為替レート：（USD→円）前期通期レート 110.70円/USドル 当期通期レート 111.07円/USドル、（EUR→円）当期通期レート 125.70円/ユーロ
- 2019年3月期 通期実績にて、コア営業利益に計上される欧州事業の取得関連費用（アドバイザリー費用等）として27億円を計上しております。
- 2018年3月期 通期実績は、米国での税制改革法における連邦法人税率の引き下げにより、米国子会社での繰延税金負債の取崩しが発生し、法人所得税が122億円減少しております。

1 - 1. 業績概要

【売上収益】

単位：億円	18/3月期 通期実績	19/3月期 通期実績	増減率	19/3月期 通期予想 (2/5発表)
国内ガス事業*	3,450	3,639	+5.5%	3,650
米国ガス事業	1,726	1,873	+8.5%	1,850
欧州ガス事業	-	551	-	520
アジア・オセアニアガス事業	1,031	1,061	+2.9%	1,040
サーモス事業*	253	278	+9.6%	290
合計	6,462	7,403	+14.6%	7,350

【営業利益】

単位：億円	18/3月期 通期実績	19/3月期 通期実績	増減率	19/3月期 通期予想 (2/5発表)
国内ガス事業*	313	298	-5.0%	296
米国ガス事業	135	156	+15.3%	146
欧州ガス事業	-	65	-	63
アジア・オセアニアガス事業	92	91	-0.9%	110
サーモス事業*	77	91	+18.6%	95
消去又は全社※	-18	-45	-	-45
コア営業利益 計	600	658	+9.6%	665
非経常損益	-1	10	-	5
営業利益	598	668	+11.7%	670

※2019年3月期 通期実績にて、コア営業利益に計上される欧州事業の取得関連費用（アドバイザー費用等）として27億円を計上しております。

* 2019年3月期より「サーモス他事業」セグメントに計上されていたサーモス事業以外の他事業を「国内ガス事業」セグメントへ移管しております。

また、比較基準を揃えるために当該移管分を組み換えて表示しております。

1-2. セグメント別業績：国内ガス事業

単位：億円			18/3月期 通期	19/3月期 通期	増減率
売上収益	産業ガス	バルク	802	805	+0.4%
		オンサイト	567	690	+21.8%
		パッケージガス	114	114	+0.2%
		ハードグッズ	236	268	+13.3%
		機器・プラント	433	450	+4.0%
		メディカル	235	267	+13.4%
		産業ガス 計	2,390	2,597	+8.7%
	エレクトロニクス	ガス	482	462	-4.0%
		機器・工事	260	264	+1.4%
		エレクトロニクス 計	743	727	-2.1%
	エネルギー	LPガス	288	284	-1.3%
		関連機器	29	30	+3.6%
		エネルギー 計	317	314	-0.9%
売上収益 合計			3,450	3,639	+5.5%
セグメント利益			313	298	-5.0%

売上収益増減要因

- ・ オンサイト：JFEサンソセンター倉敷工場の収益が貢献
- ・ ハードグッズ：レーザ切断機の販売好調（金属加工向け）
- ・ メディカル：アイ・エム・アイ社 買収による寄与
- ・ エレクトロニクス関連：電子材料ガスの出荷減

セグメント利益増減要因

- ・ 燃料価格上昇によるコスト増加
- ・ 炭酸ガスの原料ガス不足等によるコスト増加
- ・ メディカル：アイ・エム・アイ社 買収による寄与
- ・ エレクトロニクス関連：電子材料ガス減収による減益



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

1-2. セグメント別業績：米国ガス事業

単位：億円			18/3月期 通期	19/3月期 通期	増減率
売上収益	産業ガス	バルク	689	764	+10.9%
		オンサイト	88	107	+21.8%
		パッケージガス	508	519	+2.1%
		ハードグッズ	329	361	+9.8%
		産業ガス 計	1,615	1,752	+8.5%
	エレクトロニクス	ガス	72	70	-3.1%
		機器・工事	38	49	+30.3%
		エレクトロニクス 計	110	120	+8.5%
	売上収益 合計			1,726	1,873
セグメント利益			135	156	+15.3%

※為替換算による影響

売上収益+6億円 セグメント利益+0.4億円

売上収益増減要因

- ・バルク：セパレートガスの出荷は好調
- ・オンサイト：新規案件の稼働開始、
HyCO事業買収による貢献
- ・ハードグッズ：建設・エネルギー産業向けの販売好調

セグメント利益増減要因

- ・産業ガス関連は全般的に好調。
バルク、オンサイト、パッケージ、ハードグッズの増収
による増益
- ・HyCO事業買収による貢献



1 - 2. セグメント別業績：欧州ガス事業

単位：億円			19/3月期 通期
売上収益	産業ガス	バルク	265
		オンサイト	94
		パッケージガス	101
		ハードグッズ	9
		機器・プラント	38
		産業ガス 計	508
	エレクトロニクス	ガス	42
		エレクトロニクス 計	42
	売上収益 合計	551	
セグメント利益			65

- ・ 2019年3月期 通期実績は、米国 Praxair, Inc.より取得しました欧州事業の2018年12月から2019年3月までの4ヶ月の業績です。
- ・ 2019年3月期 通期実績では、パーチェス・プライス・アロケーション（取得価額の配分）に基づき、在庫資産の時価評価による売上原価の増加として7億円（2019年3月期のみ）、有形固定資産及び無形資産の減価償却費及び償却費の増加として32億円の費用を含んでおります。



1-2. セグメント別業績：アジア・オセアニアガス事業

単位：億円			18/3月期 通期	19/3月期 通期	増減率
売上収益	産業ガス	バルク	381	408	+7.1%
		オンサイト	29	30	+2.4%
		パッケージガス	55	52	-4.2%
		ハードグッズ	55	49	-10.4%
		機器・プラント	136	159	+16.6%
		産業ガス 計	658	701	+6.4%
	エレクトロニクス	ガス	310	293	-5.3%
		機器・工事	62	66	+6.4%
		エレクトロニクス 計	372	360	-3.3%
売上収益 合計			1,031	1,061	+2.9%
セグメント利益			92	91	-0.9%

※為替換算による影響

売上収益 ▲21億円 セグメント利益 ▲2億円

売上収益増減要因

- ◆産業ガス関連
 - ・中国・ベトナム・フィリピンでバルクガスの販売は好調
 - ・豪州でのLPガス及び関連機器の販売は好調
- ◆エレクトロニクスガス
 - ・台湾での会計処理変更の影響による減収はあるが、東アジアでの電子材料ガスの出荷は堅調

セグメント利益増減要因

- ◆産業ガス関連
 - ・バルクガスでの増収による増益
 - ・豪州でのLPガスの仕入価格上昇による減益
 - ・Leeden NOXでの天然ガス液化事業で13億円減損*1
- ◆エレクトロニクスガス
 - ・電子材料ガスの増収による増益

*1 インドネシアで進めている天然ガス液化事業*2において、原燃料を取り巻く市場環境が大きく変化し、将来の収益性が低下したため、当該事業に供する資産の減損処理を行いました。

*2 インドネシアの電力会社から委託を受けて、発電用天然ガスを液化してインドネシアの離島に輸送する事業



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

1-2. セグメント別業績：サーモス事業

単位：億円		18/3月期 通期	19/3月期 通期	増減率
売上収益	国内	213	220	+3.3%
	アジア	40	57	+43.2%
	売上収益 合計	253	278	+9.6%
セグメント利益		77	91	+18.6%

※為替換算による影響

売上収益+0.1億円 セグメント利益+0.1億円

売上収益増減要因

- ・国内：スポーツボトルを中心に販売は好調。
調理器具の新製品（フライパン）発売による貢献
- ・海外：韓国での販売は好調

セグメント利益増減要因

- ・国内：増収による増益
- ・海外：韓国での増収による増益、持分法適用会社で増益



2-1. 2020年3月期 業績予想概要

単位：億円	19/3月期 通期実績 利益率	20/3月期 通期予想 利益率	前期比 増減率
売上収益	7,403	8,900	+1,497 +20.2%
コア営業利益	658 8.9%	950 10.7%	+292 +44.3%
非経常損益	10	70	+60
営業利益	668 9.0%	1,020 11.5%	+352 +52.6%
金融損益	-47	-155	-108
税引前利益	620	865	+245
法人所得税	-183	-270	+87
当期利益	437	595	+158
(当期利益の帰属)			
親会社の所有者に帰属する当期利益	412 5.6%	570 6.4%	+158 +38.0%
非支配持分に帰属する当期利益	24	25	+1

- 2020年3月期 想定為替レート：(USD→円) 110円/USドル、(EUR→円) 125円/ユーロ
- 2020年3月期は、資産効率改善の一環として保有資産の売却を行い、非経常損益で70億円を計上する予定です。



TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

2-2. 2020年3月期 セグメント別業績予想

【売上収益】

単位：億円	19/3月期 通期実績	20/3月期 通期予想	増減率
国内ガス事業	3,639	3,750	+3.0%
米国ガス事業	1,873	2,010	+7.3%
欧州ガス事業	551	1,730	+214.0%
アジア・オセアニアガス事業	1,061	1,110	+4.6%
サーモス事業	278	300	+7.9%
合計	7,403	8,900	+20.2%

【営業利益】

単位：億円	19/3月期 通期実績	20/3月期 通期予想	増減率
国内ガス事業	298	306	+2.7%
米国ガス事業	156	190	+21.5%
欧州ガス事業	65	265	+303.5%
アジア・オセアニアガス事業	91	115	+25.7%
サーモス事業	91	94	+2.3%
消去又は全社※	-45	-20	-
コア営業利益 計	658	950	+44.3%
非経常損益	10	70	-
営業利益	668	1,020	+52.6%

※2019年3月期 通期実績にて、コア営業利益に計上される欧州事業の取得関連費用（アドバイザー費用等）として27億円を計上しております。

(参考資料)



非経常収益・費用明細

単位：億円	18/3月期 通期実績	19/3月期 通期実績	前期比
コア営業利益	600	658	+58
非経常損益	-1	10	+11
営業利益	598	668	+70

【非経常収益・費用明細】

18/3月期 通期実績		19/3月期 通期実績	
明細	金額	明細	金額
国内土地売却益	12億円	国内土地売却益	13億円
alfi事業再構築関連費用 (サーモス)	-10億円	その他	-3億円
関係会社拠点集約費用	-2億円		
豪州子会社統合費用	-1億円		
その他	-0億円		
合計	-1億円	合計	10億円



要約キャッシュ・フロー計算書（連結）

単位：億円		18/3月期 通期実績	19/3月期 通期実績	前期比
	税引前利益	558	620	+62
	減価償却費・償却費	432	561	+129
	運転資金増減	-69	-24	+45
	その他	-90	-170	-80
①営業活動によるキャッシュ・フロー		831	986	+155
	設備投資	-582	-741	-159
	投融資	-11	-6,911	-6,900
	その他（資産売却等）	73	103	+30
②投資活動によるキャッシュ・フロー		-520	-7,549	-7,029
フリー・キャッシュ・フロー（①+②）		311	-6,562	-6,873
純有利子負債		2,749	9,411	+6,662
調整後ネットD/Eレシオ		-	1.54	-

- 純有利子負債：有利子負債 - 現金及び現金同等物*
*IFRSでは、預入期間が3ヶ月を超える定期預金は「現金及び現金同等物」に含まれませんが、当社より開示しております「純有利子負債」では同項目を考慮して算定しております。
- 調整後ネットD/Eレシオ：（純有利子負債 - 資本性負債） / （親会社の所有者に帰属する持分 + 資本性負債）
- 資本性負債：ハイブリッドファイナンスで調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額（調達額の50%）
- ハイブリッドファイナンス：負債でありながら、利息の任意繰延、超長期の返済期限、清算手続き及び倒産手続きにおける劣後性等の資本に類似した特徴を有しているファイナンス形態

要約財政状態計算書（連結）

単位：億円	18/3月期 期末実績	19/3月期 期末実績	前期比		18/3月期 期末実績	19/3月期 期末実績	前期比
現金及び現金同等物	478	596	+118	有利子負債	3,269	10,054	+6,785
営業債権	1,642	1,979	+337	営業債務	794	1,059	+265
棚卸資産	514	662	+148	その他	1,125	2,237	+1,112
その他	147	232	+85	負債 合計	5,189	13,351	+8,162
流動資産 合計	2,783	3,471	+688	資本金・剰余金等	3,955	4,295	+340
有形固定資産	3,919	6,393	+2,474	その他の資本の構成要素	-91	-229	-138
のれん	1,192	4,377	+3,185	親会社の所有者に帰属する持分	3,864	4,066	+202
無形資産	449	2,538	+2,089	非支配持分	256	292	+36
その他	966	929	-37	資本 合計	4,120	4,358	+238
非流動資産 合計	6,527	14,238	+7,711	負債・資本 合計	9,310	17,710	+8,400
資産 合計	9,310	17,710	+8,400				



重要経営指標（連結）

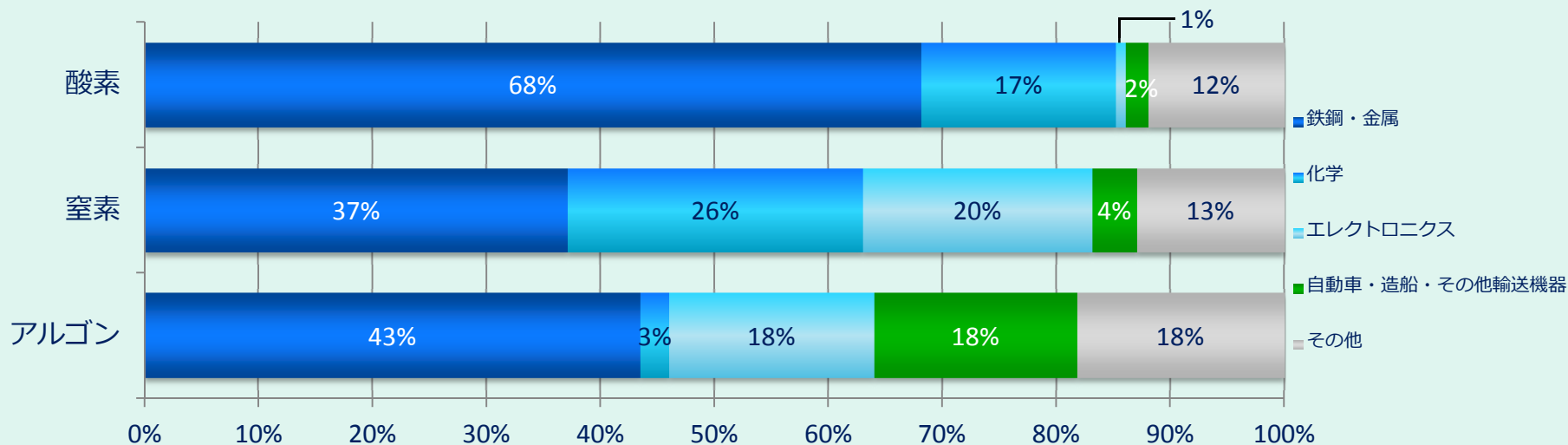
	18/3月期 期末実績	19/3月期 期末実績	20/3月期 期末予想
基本的 1 株当たり当期利益	113.04円	95.42円	131.71円
海外売上収益比率	43.3%	47.9%	55.0%
ROE	13.3%	10.4%	13.4%
ROCE	8.4%	6.2%	6.6%
一株当たり年間配当金	23円	25円	26円
配当性向	20.3%	26.2%	19.7%
設備投資（工事ベース）	625.69 億円	766.57 億円	1,023.00 億円
投融資*	11.30 億円	6,911.26 億円	-
減価償却費	432.66 億円	561.11 億円	830.00 億円
有利子負債残高	3,269.59 億円	10,054.02 億円	9,837.00 億円
純有利子負債残高	2,749.68 億円	9,411.17 億円	9,181.00 億円

* 上記で開示している「投融資」は、投資活動によるキャッシュ・フローの投融資（投資有価証券の取得、子会社株式の取得、事業譲受）でございます。

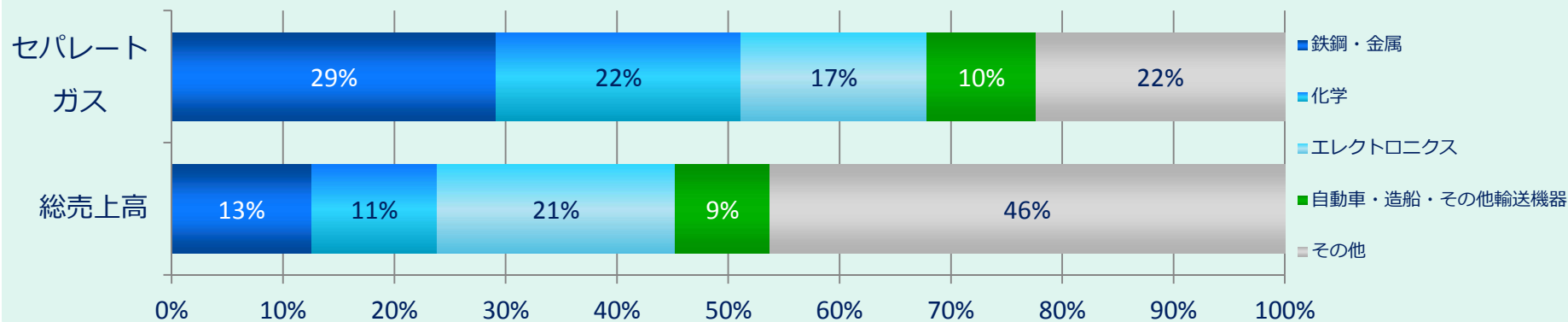
- 2018年3月期は、米国での税制改革法における連邦法人税率の引下げにより、法人所得税が大幅に減少する影響を除いた場合、「基本的 1 株当たり当期利益 84.87円」「ROE 10.1%」「ROCE 8.5%」「配当性向 27.1%」となります。

業種別売上割合

【業種別売上数量割合】

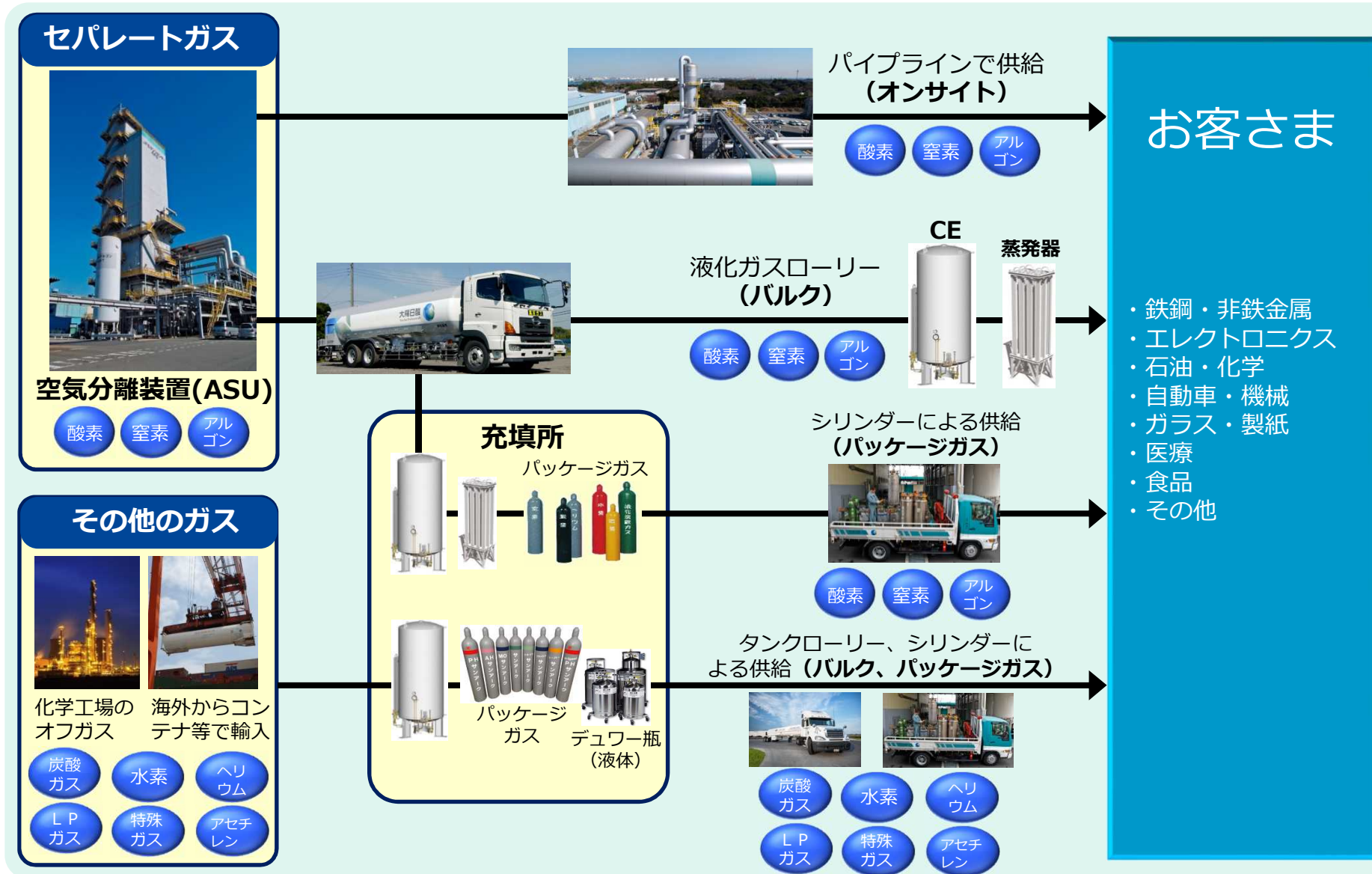


【業種別売上収益割合】



※集計範囲は欧州ガス事業セグメントを除く

大陽日酸のガス供給体制



注意事項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されております。これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績はさまざまなリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがございますが、これらに限りません）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございまして、ことをお含みおきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますよう、お願い致します。

